



先日、園舎の裏の畑で育てたサツマイモを、園庭で作った焚き火で焼き芋にして食べました。例年よりも収穫の全体数は少なかつたものの、サツマイモ自体の品質が良かったからか、甘みが高く、みんなで美味しくいただくことができました。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による



「おはなし会」 12/1 (木)

絵本や紙芝居など、子どもたちは本当によく聞いています。是非、ココロライブラリーも活用していただきながら読み聞かせの良さをご家庭でも感じてくださね。



てくてくミュージアム

12/8 (木) ~ 10 (土) 13時まで
子どもたちの作品を展示いたします。うまいへたではなく、お子さんの表現や活動を認めながら、観ていただければと思います。詳しくは先日配布の手紙をご覧ください。



カレーライスの日

12/14 (水)

感染症の影響でなかなかできないです。今月こそはみんなで美味しいカレー・サラダ・フルーチェを作ることができますように！



交通安全教室

12/15 (木)

毎回、色々と工夫した教材で子どもたちに身を守る方法を教えてくださっています。今回は「安全確認と一時停止」についてです。



誕生会

12/20 (火)

みんなからお祝いしてもらって嬉しさは何ものにも代え難いものです。お祝いしてあげる喜びも、子どもたちには伝えていきたいですね。



おべんとうデー

12/21 (水)

楽しみなおべんとうの日！いつもご協力ありがとうございます。特に3歳児以下のご家庭は、喉に詰まりそうな形状のものはカットしてから入れるなどご配慮をお願いします。



クリスマス会

12/23 (金)

子どもたちの夢見る心はいつまでも大切にしていきたいですね。良い大人になる良い子にはきっと良いことが起こるかもしれませんよ～！

★年末年始の日程について

2022年12月29日 (木) ~ 2023年1月3日 (火)

の期間は保育園もお休みとなります。ご承知おきください。年末は12月28日 (火) まで年始は1月4日 (水) からです！

お知らせ・お願い

★気温が低いと温かい格好をさせたいのが親心ですね。ただ、園生活では、裏起毛やヒートテックのような吸湿発熱の素材の衣服はご遠慮いただいています。理由は、活動して汗をかくことで「汗冷え」が起こり、結果的に身体を冷やしてしまうからです。また、厚手の衣服は動きづらさもありますので、薄手の長袖等を複数用意していただきますとよしいかと思ます。寒い日の戸外遊びは、ご用意いただいた上着を着たり、薄手の長袖を重ね着するなどして対応いたします。ご協力をお願いいたします。(最近の子ども服、裏起毛や吸湿発熱以外の服がなかなか見つからない…分かります…)

★発熱の対応について

コロナ・インフルエンザの同時流行も危惧されている今冬です。これまでは発熱の際、ご自宅の抗原検査キットでコロナについては調べることができましたが、これからはインフルエンザにも注意していく必要が出てきました。発熱や体調不良が見られる場合は、受診をしてからの登園をお願いいたします。

★オムツの処理について

使用済みのオムツを園で処分することになります。詳しくはオムツ利用のご家庭に別紙でお知らせしています。

★もちつきについて

今年度は1月18日 (水) にもちつきを予定しています。保護者の方にもお手伝いいただきたいところですが、感染症がどう広がるか分からない状況なので、園の職員でおこないます。ご了承ください。

★ランランフェスティバル (発表会) について

2月25日 (土) におこないます。今回は2歳児以上が全員参加し、保護者の方は各ご家庭から1名での観覧とさせていただきます。詳しくは後日手紙を配布いたします。

『筑波登山』

コロナで有名になったWHO (世界保健機構) は、「健康とは、単に病気でない、とか虚弱でないとかではなく、身体的・精神的、そして社会的に良好な状況であること」と定義しています。「体」だけでなく「心」も、そして「人との関わり」も健やかでなければなりません。▼今ではたくさんの園が筑波登山を取り入れていますが、43年前に、初めて子ども達を連れて筑波山に登った時、山頂近くの茶店の人が「幼稚園児が登って来たのは初めて！」と驚かれました。山に登るのは、上への体重移動なので、身の軽い幼児ほど楽に登れます。手をついて登っていますので、転んでも安全です。しかし、下りは手をつく間隔が遠くなるので危険です。下りは慎重に注意して歩くように声を掛け続けます。子どものことが分かっていたので、筑波登山を始めることができたのです。ハンディのある子どもも登れます。最後になっても、仲間が待っている、昼食の場所に着くと、みんなが拍手で迎えてくれます。胸を張って誇らしげにゴールします。日頃は体の大きな太った子が威張っています。が、上への体重移動なので、体の小さな軽い子ほど軽々と登れます。反対に、体重の重い子は苦闘し、喘ぎへろへろになります。いつもとは逆転して、体の小さい子に「大丈夫？ 頑張つて」などと励まされることにな

ります。体の小さい子が優位になれます。人には、それぞれ長所・短所があることが分かっています。何よりみんな仲間として、同じ目標に向かって頑張ることができるとです。▼すべての活動で、必ず「ねらい」「目的」を大切にしています。園の理念「たくましく大地に根を張れふたばっ子」の根っ子の教育と、「子ども達の樂園」子ども中心、子どもが主人公を原理・原則として、ねらい・目的を引き出します。筑波登山の目的の一つは、苦しくても自分の足で登り切った達成感を味わうことです。競争ではないので、誰もが達成感を味わうことができます。「僕は頑張った、やればできる」と、自尊感情を持ちます。もう一つのねらいは、友達と一緒に励まし合い、登ることです。筑波登山の翌日、「昨日はみんなと楽しかった。明日また、行きたい」とお願いされました。私は、絶句して筋肉痛の足をさすり、返答できませんでした。▼初めに、健康とは「体」と「心」と「人との関わり (社会性)」が、健やかなことと述べましたが、ふたばっ子は、健康そのものです。運動会、筑波登山を終え、秋の深まりと共に、日々の園生活も、いよいよ充実し、子ども達は、一回り大きくなり、自信をつけたいように感じられます。

理事長 浅田 精利